



ユリノキフレンス

新橋小学校

学校だより

令和3年10月4日
令和3年度 第6号

タブレット端末と楽しく学習

校長 樋渡 典子

お彼岸が近くなると、新橋小学校のプール横には赤い彼岸花が咲きます。自宅近くでも、通勤途中でも、この時期になると同じ場所に咲く彼岸花が、慌ただしく過ごす私に秋の訪れを伝えてくれます。朝晩のひんやりした空気が気持ちいい季節になりました。

神奈川県「緊急事態宣言」は解除され、横浜市の小学校も全員登校に戻りました。今日は久しぶりに登校班での登校、班長さんを先頭に登校する姿が嬉しかったです。宣言は解除されましたが、感染対策を行っていくことに変わりはありません。ご家庭での健康観察に引き続きご協力をお願いいたします。

9月には Wi-Fi 環境の調査にご協力いただきありがとうございました。感染者数の増加や分散登校継続等を受け、タブレット端末を家庭学習にも利用できるよう、9月中旬から持ち帰りを始めました。7月に GIGA 開きを行って以来、教室では子どもたちの成長段階や教科の特性を考慮しながら様々な場でタブレット端末を活用しています。

1年生は自分でログインしたり指示された作業（写真を撮る→担任に提出する→全員で共有）を行ったりと、初歩的な活動から丁寧に進めました。また、国語の「おおきなかぶ」を各自が一部分音読し、タブレットに録音したものを担任に送り、つなぎ合わせて音読劇として発表する活動に楽しく取り組んでいました。

6年生は活用レベルがどんどん上がっています。教室をまわっていると算数の作図の場で活用していました。作図した図形を写真に撮り共有する活動はもちろん行いますが、さらに、作図している作業を動画で撮影し配信をしました。他の人は各自のタブレットでその作業の様子を見つめます。今までは代表が一人黒板に出て、大きな三角定規やコンパスを使い作図していました。タブレットを活用すると説明する側もやりやすいし、受け取る側も手元で見ながら説明を聞くことで、より理解が深まる効果があったそうです。

音楽では、音楽を作るアプリを用い、様々な楽器やリズムを選択し自分の曲を創っていました。音（楽器）の種類が豊富で、今まで創作活動に苦手意識をもっていた人も気軽に創る楽しさを味わうことが出来ます。また、違うアプリでは、鍵盤ハーモニカの指の動かし方を手元で画面を見ながら練習したり、苦手な部分を何度も繰り返し見ながら練習したりと、一人一人の課題に対応できる良さも感じられました。

タブレット端末の活用はスタートしたばかりですが、今後、さらに学習効果の高い活用方法やアプリが紹介されると思います。職員のスキルを高めながら、使われるのではなく、使いこなしていきたいと思っています。

お知らせ

用務員の「小林和雄」ですが、医師から二か月間の療養が必要との診断が出ました。その間、「戸塚一仁」「田守清司」の二名が着任し、業務にあたります。ご承知おきください。

